

報道関係者 各位

婚活 結婚はゴールじゃない！その先に待つ、衝撃の生活とは?!

『ただトモ夫婦のリアル』(日本経済新聞出版社)

ガンブラで別居、ツイッターで会話。イクメン世代・驚きの夫婦生活&新消費  
～ 発刊のお知らせ～

お世話になります。さて来たる9月10日、マーケティングライター・牛窪恵(うしくぼめぐみ)による書籍『ただトモ夫婦のリアル』(税込 893円)が日本経済新聞出版社より発刊となります。

同書は、『草食系男子「お嬢マン」が日本を変える』(講談社)や『男が知らない「おひとりさま」マーケット』(日本経済新聞出版社)など多数の著書で、「草食系男子」(09年)や「おひとりさまマーケット」(05年)などのブームを呼んだ、牛窪恵による最新刊です。

今回は1年半かけて、20～30代、いわば「イクメン世代」の夫婦約100人に対面(同行)取材。見えてきたのは、リビングや冷蔵庫を「オレ領域」「妻ワールド」と領域分けする、夫婦の会話を毎日ツイッターだけで済ませる、「解散!」のひと言で離婚するなど、とても夫婦とは思えない、まるで「ただの友達」のような男女の姿。そこから「ただトモ夫婦」と命名しました。

いまや男女平等が当たり前、結婚後も共働きが時代の必然。そんな中、妻たちは何よりひとり時間を大切にしたいという「おひとり妻」欲求が強く、すでに新たな市場を形成していました。一方の夫は、「見栄よりイエ(家庭)」に回帰し、パパ用育児グッズや父娘で習い事など、イクメン市場をグイグイと牽引。結婚後の「親」との密接な関わりも、驚くほど顕著でした。

本書の特徴

- 1、「草食系イクメン+おひとり妻 =ただトモ夫婦」?  
20～30代夫婦のイクメン志向や おひとりさま欲求のナゾを探る!
- 2、なぜ100円のわさびをケチってルンバやベーカリーを買うのか?  
20～30代・ガールズママの「ママ友力」やユメミ消費に迫る!
- 3、別居婚や事実婚、親との同居、ワークライフバランスの今後は?  
20～30代夫婦ならではのホンネと賢さ、甘え、苦悩を読み解く!



従来とまったく価値観が異なる、ただトモ夫婦。イクメンやおひとり妻消費、そして予想以上に多かった別居婚や週末婚は、市場に新たな可能性をもたらすでしょう。企業でマーケティングや商品開発、営業に携わる皆様はもちろん、20～30代の「ただトモ」世代のご夫婦やシングル男女の皆様、そのご両親、社内で彼らと接する皆様にも、ぜひお読みいただければ幸いです。

このリリースに関するお問い合わせは.....

インフィニティ 広報PR担当 君嶋ひろ子 / 則竹 知子

TEL:03-5921-0747 FAX:03-5921-0748 e-mail: info@hachinoji.com

## 『ただトモ夫婦のリアル』（日経プレミアシリーズ）

### おもな内容

- ・ はじめに ~ ガンプラで別居、夫婦の会話はツイッター。衝撃の20~30代夫婦
- ・ 第1章： ママになっても「おひとり妻」したい！  
「アレ？ “夫” がないですね？」 / 「私たち、主婦で、ママで、女です。」 / ママ名刺が流行る理由 / 新興住宅地に出没する「ガールズママ」 / 遊び感覚で売れたホームベーカリー / 3年で4回失踪した「おひとり妻」 / 結婚・出産もポイントカード感覚？ ほか
- ・ 第2章： 草食系イクメン、スカートをはく？  
夜の「カ仕事」のために残業しない / “総合点” でオレが幸せにすっから / 恐妻リーマンにイラつくアラフォー上司 / 会社を休んで撮影会に参加 / 娘とバレエ教室に通い始めた！ / 子ナシ男性にも売れるファザーズバッグ / 新婚でも「夫婦別寝室」が当たり前 ほか
- ・ 第3章： わさびをケチって、4万円のホームベーカリーを買う理由  
「掃除機に7万円って、どうよ？」 / 「家族幻想」で買ったWiiに早くも飽きた理由 / ルンバが来て夫婦ゲンカが減った！ / オタク文化から家族の絆へ / 家族の絆も「モー娘。」感覚？ / 1時間の調理も「苦行」 / 「楽しくなければ面倒なだけ」 / 子ども手当でパパ改造 ほか
- ・ 第4章： 夫（妻）より親、の「親ラブ族」  
思春期でも「ママと入浴」が4人に1人超 / 義母を使う妻の戦略 / 結婚後も「近接居住」が急増 / 20~30代で増えるセックスレス夫婦 / 出産に立会い、夫が気絶 / 妊娠しないエッチは「ムダ」 / ママに注目浴びる「体育の家庭教師」 / 「家族全員でケーキ入刀」が大ブーム ほか
- ・ 第5章： これからも「ただトモ夫婦」でいいですか？  
シロガネーゼも駅前のブックオフカフェでお茶 / 急増する「インビジブル・ファミリー」 / やっぱりママ友や保育ママを頼るしかない / 育休後、2階級も降格 / 「とりあえず結婚」の時代 / 母子カプセルの中で増殖した、草食系男子 / 間もなく日本は「大独身時代」に突入 ほか
- ・ おわりに ~ 草食系イクメンとおひとり妻は、なぜうまくいかないのか？

### 著者・牛窪 恵（プロフィール）

マーケティングライター。財務省財政制度等審議会専門委員。  
1968年、東京生まれ。日大芸術学部映画学科（脚本）卒業。  
大手出版社にて編集等に従事。以後フリーライターとして独立し、  
2001年に（有）インフィニティ（<http://www.hachinoji.com/>）を設立。  
著書に、『草食系男子「お嬢マン」が日本を変える』（講談社）『男が知らない「おひとりさま」マーケット』『独身王子に聞け！』（いずれも日本経済新聞出版社）『「婚・産・職」女の決めどき』（大和書房）ほか。



04年11月に積水ハウス（株）と2社共同で、「これからの家族を考える会」を発足、同代表。

10年より、厚労省「女性と仕事の未来館」運営協議会委員。NHK総合「Biz スポ」、テレビ朝日「やじうまサタデー」、フジテレビ「ホンマでっか?!TV」ほか、テレビ番組コメンテーターも多数